

# Nicole Glover Trio

Christian McBride のバンドに抜擢されて以来、大きな期待と話題を呼び、さらに昨今は John Pattituci と Brian Blade とのトリオに抜擢され、今やニューヨークのジャズシーンでは最も注目される若手女性テナー・サクソ奏者である Nicole Glover が、こちらもまたニューヨークのジャズシーンで最も注目を浴び大活躍の精鋭二人を引き連れてのトリオ。

## [Profile]

Nicole Glover ニコル・グローバー : tenor saxophone



オレゴン州ポートランドで育ち、10才でクラリネットを始め、その後テナーサクソに転向。アメリカン・ミュージック・プログラムの学生で、2009年にニュージャージー州ウェインのウィリアム・パターソン大学のジャズ・プログラムに入学するために東部へ引っ越す。そこでは、ピアニストのハロルド・メイバーン、マルグラー・ミラー、テナーサクソ奏者のリッチ・ペリーに師事する。卒業後、地元に戻りグラミー賞受賞アルバム「Radio Music Society」等のレコーディングに参加する。その後、拠点をニューヨークに移し、ベーシストのクリスチャン・マクブライドが率いる「アーサ・メジャー」や、音楽監督のルネ・ロスネスが率いるスーパーグループ「ARTEMIS」の主要メンバーとして活躍の他に、ウィントン・マルサリスや「ジャズ・アット・リンカーン・センター管弦楽団」とも頻繁に共演し、23年に同管弦楽団のオーストラリア・ツアーに参

加し「メルボルン交響楽団」「シドニー交響楽団」とマルサリスの交響曲[オール・ライズ]を演奏する。経験豊富な教育者でもあるニコルは、現在、マンハッタン音楽学校、プリンストン大学、サンフランシスコ音楽院で教鞭を執ってる。

現在は、ニューヨークを拠点とし新進気鋭のミュージシャンとして、また引っ張りだこのミュージシャンとしての地位を確立している。

Tyrone Allen II タイロン・アレン : bass



メリーランド州テンブルヒルズで生まれ育つ。

ワシントン D.C. の公立学校で教師をしていた父親の指導を受け、幼い頃から音楽の才能を開花させ「イーストマン音楽学校」でジェフ・キャンベルとジェームズ・ヴァンデマークのもとでジャズとクラシック音楽を学ぶ。その後バークリー音楽大学に進学し芸術監督ダニロ・ペレスが率いるバークリー音楽大学のグローバル・ジャズ・マスターズ・プログラムで音楽修士号を取得し卒業する。現在はニューヨークに移り、これまでにラルフ・ピーターソン、テリ・リン・キャリントン、ジェラルド・クレイトン、ジョージ・ガーゾーン、ジャズメイア・ホーン、ジェリー・バーガンジーなど多くのミュージシャンと共演している。

最近では、グラミー賞受賞者のサリバン・フォートナーと共演およびレコーディングを行い、トニー賞を受賞したブロードウェイショー「ムーラン ルージュ」に出演している。タイロン・アレン II は、卓越したアップライトおよびエレクトリックベーシストとして世界的に知られ、ジャンルを超えてニューヨークの音楽シーンに影響を与えている。

Kayvon Gordon ケイボン・ゴードン : drums



デトロイトで生まれ育つ。

若い頃に、トランペット奏者マーカス・ベルグレイブの指導を受ける。その後、ミシガン大学に進学しロバート・ハースト、ベニー・グリーンに師事する。

在学中からヨーロッパ、アフリカ、南アジア、アラブ首長国連邦、北米で公演を行っている。

これまでの主な共演者はマーカス・ベルグレイブ、ジョー・ロヴァーノ、ジョニー・オニール、ロバート・ハースト、ロドニー・ウィテカー、サリバン・フォートナー、ラヴィ・コルトレーン、JD・アレン、ウィントン・マルサリスなどがおり若くして著名なミュージシャンとステージを共有する光栄に恵まれている。

現在、ニューヨークを拠点としての活動と同時にデトロイトの伝統的なジャズを学び同世代のミュージシャンと切磋琢磨している。